

公民館だより **11**月号

公民館レポート

拍手喝采 ステージ発表、盛り沢山 作品展～生涯学習フェスティバル～

今年度の生涯学習フェスティバルは、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら開催しました。ステージ発表は、11月3日（火・祝）に開催し、作品展は、11月2日（月）～8日（日）（最終日は14時）まで開催中です。日ごろの練習の成果を披露すべく、各種団体から「ステージ発表」、絵画や手芸等の「作品展」のほか、「健康づくり」ブースも設けられ、会場が大いに賑わいました。



出雲崎総合大学 公開講座を開催しました



10月25日（日）中央公民館において、出雲崎総合大学公開講座を開催しました。安宅俊介講師、佐藤和夫講師からそれぞれ北前船についてご講演いただき、50名の参加者が受講しました。安宅講師からは、尼瀬に関する豊富な文献資料を活用し、地域の海運史を解説いただき、佐藤講師からは、自身が携わるまちづくりの活動と、まちづくり直江津の神髓についてお話しいただきました。

「富川潤一展」～良寛のこころを描き映した画家～



良寛記念館では11月3日(火・祝)～1月31日(日)まで、『富川潤一展』～良寛のこころを描き映した画家～を開催しています。

この度、富川画伯ご息女の斎藤藍子氏と弟子であった洋画家小山玲子氏のご協力を得まして富川潤一最晩年作品初公開作品を含む23点を良寛の作品と共に展示しております。

11月23日(月・祝)には、10時30分より館長によるギャラリートークも行います。皆さんお誘いあわせの上、ご来場下さい。

【良寛没後190年記念企画】 良寛さまアート作品 結果発表

8月1日から9月30日まで「良寛さま」アート作品の募集を行い、応募者42名、応募作品57点から、最優秀作品1点、優秀作品2点が決定しました。選考結果は、下記の通りです。最優秀賞に選ばれた作品は、キャラクターデザイン化し今後の「良寛さま」に関する普及啓発の様々な場面で活躍してもらうことを予定しています。

【最優秀賞】

新潟県 中野 姫奈さん



【優秀賞】

愛知県 尾関 裕美さん



【優秀賞】

新潟県 丸山 流奈さん



【中央公民館】

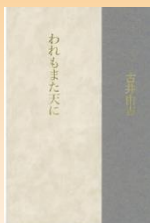
【町立図書館(海岸公民館)】



われもまた天に/古井由吉 著 新潮社

自分が何処の何者であるかは、先祖たちに起こった厄災を我身に負うことではないのか。現代日本文学をはるかに照らす古井由吉の最後の小説集。表題作ほか「雛の春」、未完の「遺稿」など全4編を収録。

「新潮」掲載を書籍化。



震雷の人/千葉ともこ 著 文藝春秋

書の力で動かしたい。文官を目指しながら、信念を曲げず敵陣の刃に倒れた顔季明。彼の許嫁の采春は興行一座に身を隠し、武術を磨きながら季明の仇討ちを計った。一方、采春の兄・張永は…。

ロマン香る唐代大河小説。
[松本清張賞(第27回)]



心淋し川/西條奈加 著 集英社

江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。「小説すばる」掲載に加筆・修正して単行本化。



海蝶/吉川英梨 著 講談社

女性初の潜水土として注目を集める、横浜海上保安部所属・忍海愛。兄は特殊救難隊、父もベテラン海保潜水土で血筋は折り紙付き。そんな愛を待ち受けていたのは、とんでもない事件だった…。挑戦と勇気の物語。



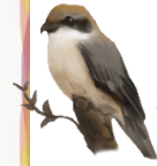


「ちいさい秋」にも、風情が

公民館長 佐藤 亨

「霜降」から「立冬」（11月7日）へと時節が変わっていく。しかし、まだ秋の装いはしばらく続く。紅葉や菊花の便りが届くが、今年はコロナ禍で、特に県外へは足が遠のく。従って、身近で秋の風情を楽しむ人も多いことだろう。

サトウハチロー作詞に『ちいさい秋みつけた』の有名な童謡歌がある。



モズ鳥

♪（一番）
誰かさんが 誰かさんが 誰かさんが みつけた
ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた
めかくし鬼さん 手のなる方へ すましたお耳に
かすかにしみた よんでる口笛 もずの声
ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 みつけた
♪

歌詞にある「もずの声」「秋の風（二番）」「入日色（三番）」は、耳に聞こえる鳥の声も、肌を感じる秋の風や目に映る紅いの色合いも、庭先など身近で秋の爽やかさを味わえる「ちいさい秋」である。サトウハチローさんの感性が、見事に秋の情景を提示してくれている。

自然界が奏でる秋に対し、人が作り出す秋は「文化・芸術」に代表される。コロナ禍の中で練習も制限され開催が危ぶまれたが、規模は縮小されたものの、「生涯学習フェスティバル」及び「作品展」が今年も開催することが出来た。

各ステージ発表や作品は見ごたえがあり、眼に焼き付いた。人が作り出すものは、それぞれのこだわりや感性が表現されているものだけに、自然とは別の美しさがある。

作品に向かう眼差しと情熱はさぞ得難いものに違いない。

そして、何よりも創作する人・鑑賞する人にとって、心が豊かになることでなからうか。楽しく、豊かな人生こそ「生きがい」を生む素地である。

11月下旬、世界で活躍している「鼓童」がやって来る。

併せて、佐渡の高校生による郷土芸能、当町の芸能団体による出演もある。コロナ禍で、普段の閉そく感を払い、元氣を出してもらうための「日本遺産北前船交流特別公演」でもある。三密を避ける上での入場制限で鑑賞できない方も多いが、晩秋の一時を心行くまで楽しめればと思う。



今月の一句

〈越後出雲崎 渚会〉

とり残すオランダ菊の色冴えて

木折町 島宗 宗子

残菊や早逝の友なつかしむ

久田 五井野 久女

〈西乃越句会〉

行く秋を追ひかけてゆく千切れ雲

てまり団地 本間 加津

売り残す釣瓶落しの市仕舞

川 西 仲野 隆之

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

たくさんのトンボと散歩楽しいな

4年生 安達 結夢

おいしそくりがいっぱい食卓に

4年生 椎谷 奏太

風にゆれいろんな色の紅葉だな

5年生 権田 佳音

湖にほんのり赤い紅葉かな

5年生 平沢 龍聖

赤とんぼ学校帰りに飛んでいる

6年生 阿部 琴巴

舞うように空を飛んでる秋菖

6年生 高木 伶未



町体だより



お申し込み・お問い合わせ
TEL 78-4700

第5回町民卓球大会の中止

12月6日(日)に開催を予定しておりました第5回町民卓球大会につきまして、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となりました。ご参加を心待ちされていた皆さまには誠に申し訳ございませんでした。来年度も開催を予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

町民登山の中止(秋開催)

秋の開催を予定しておりました町民登山につきまして、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となりました。ご参加を心待ちされていた皆さまには誠に申し訳ございませんでした。来年度も開催を予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第14回町民ウォーキングを開催いたしました！！

10月11日(日)に第14回町民ウォーキングを開催いたしました。例年とは違い新型コロナウイルス感染症防止対策としてマスクをしながら歩きました。台風が接近ということもあり、当初は開催が危ぶまれましたが、当日は天気にも恵まれウォーキング日よりとなりました。また、来年も開催を予定しておりますので、皆さまの参加をお待ちしております。ぜひ、一緒に歩きましょう！！



第39回町民ゲートボール大会を開催いたしました！！

10月13日(火)に出雲崎町文化・スポーツふれあい広場で第39回町民ゲートボール大会が開催されました。総勢7チームが白熱した試合を繰り広げました。試合の結果、西越チームが見事優勝しました。

優勝：西越チーム

準優勝：小木ノ城B

第3位：五か字、フェニックス

